

館報 教育記念館

No. 98
令和4年3月 発行



第52回 富山県
造形教育作品展



第12回 児童・生徒に
よるものづくり展



主な内容

- ◎教育時評 「挑戦することで人は磨かれる」
株式会社内山精工 代表取締役社長 内山彰博 2
- ◎後期恒例展等から 4
「児童・生徒によるものづくり展」「富山県造形教育作品展」「富山県中学校美術展」
「アイデアロボット展」「ロボットづくり教室」「高校生ロボコンフェスタ」
「富山県版造形教育作品展・秀作回顧展」
- ◎わが校の歴史から 6
富・八尾中学校 富・杉原中学校 富・三郷小学校
富・上条小学校 高・定塚小学校 高・平米小学校
- ◎「学ぼう！ふるさと未来」支援事業実践活動報告会 8
令和4年度の展示計画 あとがき



発行所／公益財団法人 富山県ひとづくり財団 富山県教育記念館 〒930-0018 富山市千歳町 1-5-1
TEL (076) 444-2000 FAX (076) 444-2001 E-mail: toyama@t-hito.or.jp http://www.t-hito.or.jp
(教育記念館会議室ご利用の場合 ☎(076) 433-2770)
発行人／富山県教育記念館 館長 富田 利通 印刷所／いおざき印刷株式会社



挑戦することで人は磨かれる

株式会社内山精工

代表取締役社長 内山 彰博

私は5歳の時から空手を始めました。

「心の強い子に育てて欲しい」と思った父は、私の意志とは関係なく上市町の空手道場に私を連れて行きました。道場は厳しく、よく泣きながら稽古をしていた記憶があります。小学4年生から野球も始め、中学・高校では部活が終われば空手の稽古に行くという生活でした。ただ、今思えば学生時代は色々中途半端だったなと思います。強くなりたいがキツイ練習・稽古はあまりしたくない。いつもさぼることを考えていたような気がします。そんな自分を変えてくれたのが空手の先生との出会いでした。

大学を卒業し、富山に戻って3年ほど経って仕事に慣れた頃、道場の後輩から「先輩、また一緒に空手やりましょう」と声をかけてもらったのがきっかけで再び道場に通い始めました。県内では強い方だったので、毎年、東京で開催される全国大会に出場していました。当時は全国大会には出場するだけで、東京に遊びに行く感覚でした。しかし、元来負けず嫌いな性分なので、何回も負けてると悔しくて、「強くなりたい、やるからには日本一になりたい」という気持ちが強くなり、本気で空手に打ち込むようになりました。それでも何度も壁に跳ね返されくじけそうになっていた時に、空手のプロとしてやっていた先生が富山に移住され、指導をしてもらっていたのですが、その先生から「やればできる」とずっと言われ続けていました。その言葉に励まされ、復帰してから5年後、31歳の時に念願の全国優勝を果たすことができました。そして「次は、日本代表になりたい！日の丸

を胸につけて世界で戦いたい！」と、新たな目標を持ちました。

全国優勝したのは団体戦で、個人戦で成績を出さないと代表には選ばれません。プロの選手もいる中で、田舎の町道場で育ったレベルの自分がそこに辿り着くのは誰からも不可能と思われていたと思います。当然、それまでも個人戦に出場して何度も挑戦していましたが、上位に食い込むことはできませんでした。

そんな時、日本代表経験者である先生に「先生は体格も大きいし、才能もあるし・・・」と言ったことがありました。すると「バカやろう！俺とお前とではやってきた稽古の数が違うんだ！俺と同じ数の稽古をしてから才能だのなんだのと言え！やってもないのに才能のせいにするな！」と、雷を落とされました。そして静かに私を諭すように「内山、『鍛錬』という言葉を知っているか。千日の稽古をもって『鍛』となし、万日の稽古をもって『錬』となす。宮本武蔵の言葉だ。誰よりも稽古しろ・・・。」と言われたのです。



2004年7月 全国団体優勝

それを聞いて私は、「よし！形の稽古を1万回やろう」と決めたのです。年間2000回やる。その為には毎月200回、週に何回、一日何回と目標を立てました。仕事をしながら、道場で子供たちを教えながら、さらに自分の稽古の時間を作ってやり続けました。そして5年がたち、1万回の稽古が達成できた年に個人戦で決勝の舞台に立つことができました。そして日本代表候補に選ばれたのですが、最終的に日本代表の夢は叶いませんでした。それでも40歳からシニア部門での日本一を目指してやり続けました。そして46歳の時にアジア・オセアニア選手権シニア部門で日本代表に選ばれ、形で優勝、組手で3位になりました。この時初めて、夢を持ってそれに挑戦し、諦めず、努力し続けることの大切さを身をもって経験することができました。

日の丸を胸に世界の舞台で戦いたいと思い始めて15年。日本一を目指したのが27歳、日本代表を目指したのが31歳、国際大会で優勝できたのが46歳。人はいつスイッチが入るかわからないと思いました。私にとっては空手の先生との出会い、そして「やればできる」、この言葉が始まりでした。そして、諦めず頑張り続けてこれたのは自分の子供たちに「夢



2019年8月 アジア・オセアニア大会個人優勝

を持ってそれに向かって一所懸命頑張る子になってほしい」と願っていたからです。それは口で言っても通じない、自分がその姿を見せないといけない、そう思っていたからです。

そんな色々な空手の経験は仕事にも生かされています。弊社は自動車や産業機械向けの軸受け部品や様々な機械要素部品を作っています。安く作るために一緒に海外に行かないかと誘われたこともありましたが、私は、日本で、富山で、この上市で地元貢献しながら頑張ろうと決めました。ではどうやって生き残っていくかということ、加工が難しいもの、小ロットで手間がかかるものなど、他社が嫌がることに積極的に取り組んでいます。

何事もできるかできないかではなく、やるかやらないかです。まずやってみる、挑戦する。その過程で人は成長すると信じています。社員の成長が会社の成長に繋がります。常にもっと良い方法はないか、もっと楽にならないか、色々なことを社員みんなできると考え、前向きに取り組む姿勢を大切にしています。

創業90年の弊社ですが、創業者の語録の中に「企業は人なり」という言葉があります。まさしくそうだなと実感し、今、自分の使命として人材育成に力を入れています。社員だけでなく、空手を通して地域の子供たちを、また、将来のものづくり人材確保のため、若いうちからものづくりに関心を持ってもらおうと、富山県機電工業会が中心となって進めている中学生の工場見学の受入れや中学校での講義を積極的に行っています。そして、経営者仲間と一般社団法人の組織を立上げ、新入社員や若手社員の研修会も開催しています。

未来を担う子供たちに「大人ってカッコいいな」「俺もあんな大人になりたいな」そんな姿を見せるのが大人の役割だと思っています。これからも色々なことに挑戦し続けていきます。

後期恒例展 1



第12回 児童・生徒によるものづくり展

10月20日(水)～11月14日(日)

県内には、高岡市のものづくり・デザイン科の取り組みをはじめ、伝統的・創作的な作品の製作に取り組んでいる学校が多く見られます。今年は、小・中・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の38校、196点の作品が展示されました。



- ・ものづくり、創作を小さい時から教育されていることに敬意を表します。大きくなって日本を牽引していってくれることを願っています。
- ・子どもたちが素敵なデザインを考えて、それを形にするために工夫して、丁寧に作られたのが伝わってきました。
- ・いろんな人が自分の作品を見てくれて、うれしかった。



第52回 富山県造形教育作品展

11月20日(土)～12月5日(日)

幼稚園・保育園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校の74校、276点の作品が展示されました。家族連れをはじめとして多数の来館者が、作品鑑賞を楽しみました。



- ・子どもたちの感性の豊かさが作品にあらわれていて将来が楽しみ。小さい頃から絵をかいたり、物を造ったりすることで創造性が育まれて、中学生、そして高校生になると開花するように思いました。
- ・どの作品も素晴らしくて、想像以上に楽しめました。



第32回 富山県中学校美術展

1月21日(金)～2月6日(日)

県内の国公立78校の中学生が、日頃の学習や部活動で作った絵画や造形作品193点が展示されました。多感な心象風景を表現した中学生らしい作品が多くの人を楽しませました。



- ・一つ一つの作品が胸に迫ってきた。描いたり、作ったりする喜びに触れ、とても幸せな時間を過ごしました。
- ・絵画からオブジェまでバラエティに富んだ力作ぞろい。伝わってくるメッセージを感じながら拝見しました。
- ・孫の作品を見に来た。こんな風に見えて、こんなことを思っているのかな。本人に聞いてみたくなった。

後期恒例展 2

第17回 アイデアロボット展

12月11日(土)～1月9日(日)

中学校・高等学校、高等専門学校の11校、14点のロボットが展示されました。競技大会(「ロボコン」)の様子や各校のロボットについて、映像やパネル等で紹介されました。

- ・ギヤやプログラミングなど動く仕組みに興味があった。自分もいつか作りたい。
- ・高校生の頑張る姿を見て、刺激を受けた。自分もいろんなことに挑戦したい。



令和3年度 ロボットづくり教室

1月9日(日) 9:00～12:30

小学校4～6年生22名が、中学校技術・家庭科の先生方の指導のもと、紙コップで相撲ロボットを製作。コントローラを操作し、白熱した相撲対決をしました。



- ・ロボットを作るのが楽しかった。いろいろなすもうロボットがいて、おもしろかったです。
- ・今回は押す力の強いロボットを作りたいです。



令和3年度 高校生ロボコンフェスタ

1月9日(日) 13:30～16:00

県民会館1階ロビーで、県内工業高校5校、6チームが、県大会に出場した自慢のロボットを実際に動かし、披露しました。



- ・空気の出し入れや吸盤などをうまく使った機構の製作がすごかった。
- ・調整が難しかった。もっと速く動かしたかった。

第15回 富山県版造形教育作品展 秀作回顧展

2月16日(水)～3月27日(日)

過去に当館で開催された「県版造形教育作品展」の中から、昭和53年度から56年度までの優秀作品126点を展示しました。

図画工作・美術科で取り組まれた「民話を題材にした作品」や「学校等での暮らしぶりを映す作品」等、当時の子供たちの感性や表現を感じ、味わうことができました。



神通川のカッパどん



すもう

わが校の歴史から

長い歴史に幕・統合 新たに「富山市立八尾中学校」へ

富山市立八尾中学校

清し 雄々し 光れ



昭和22年4月、組合立八尾東部中学校、八尾西部中学校が開校した。翌昭和23年には、八尾東部中学校と八尾西部中学校が統合し、組合立八尾中学校が発足し、この年に校章が決定した。校章の赤の「八」は若人の情熱と意気、コバルトの「星」は南十字星と博愛の精神、白の「中」は高尚、潔白、中庸を表している。その後、昭和42年に桐谷分校が、昭和43年には大長谷中学校柘折分校が統合され、さらに昭和45年には教場として発足した野積中学校、仁歩中学校が、昭和49年には大長谷中学校が統合された。そして、平成17年の市町村合併により、富山市立八尾中学校と改称され、閉校となる令和3年度末までに約19,000名の卒業生を輩出している。旧校歌に歌われている「清し、雄々し、光れ」の気持ちを忘れず、「おわら風の盆」、「曳山」に代表される、地域に根付いた伝統文化に誇りをもち、八尾地域の活力となり、地域から応援される学校になることを願っている。

長い歴史に幕・統合 新たに「富山市立三成小学校」へ

富山市立三郷小学校

新しい仲間と切磋琢磨して



本校は、明治6年に新堀小学校、一田中村小学校の2校が誕生したのが原点です。その後、分離、統合が行われ、明治38年現在の地に、三郷尋常小学校として開校しました。

本校区は南北に約6km、東西に約5kmと広いですが、子供たちは毎朝集団登校をしています。どの登校班の班長も学校に着くと、後ろに並んでいる下級生に「今日も一日頑張りましょう」と声を掛け、その後、班毎に本校の伝統である挨拶運動に参加しています。子供たちの明るくて元気な挨拶の音が前庭に響き、辺りを爽やかな空気で包んでいます。

現在の校舎は、平成27年に完成しました。明るく広々とした素晴らしい環境の中で、子供たちは「みんなでチャレンジ!みんなが輝く太陽っ子」を目指して学校生活を送っています。令和4年度より、現校舎を使用して三成小学校として新たにスタートします。自他のよさを認め、新しい仲間と切磋琢磨して、よりよい校風を築いていってほしいと願っています。

長い歴史に幕・統合 新たに「高岡市立高陵小学校」へ

高岡市立定塚小学校

ふるさと定塚への誇りと愛着をもって



本校は、明治34年4月に定塚町尋常小学校として誕生しました。校歌に「鳳凰鳴けり 高岡に 古城のほり 座を占めて」と歌われているように、加賀藩主前田利長公が開いた高岡の町の中心に位置しています。校区には高岡古城公園をはじめ、高岡市美術館等の公共施設があり、自然や文化に触れる機会に恵まれています。子供たちは明るく素直で、何事にも精一杯取り組む姿がみられます。

今年度、創校120周年を迎えました。今日に至るまでの間に18,800余名もの卒業生を送り出してきた本校は、令和4年3月をもって閉校を迎えます。そして、4月から高岡市立平米小学校との統合により「高岡市立高陵小学校」として新たな歩みを始めます。これまで諸先輩方が築いてこられた校風と伝統を新しい小学校に引き継ぐとともに、子供たちには、生まれ育ったふるさと定塚に誇りと愛着をもち、自らを支えてくださっている方々に感謝できる人に育ってほしいと願っています。

富山市立杉原中学校



新しい時代の希望となって

本校は、昭和22年に杉原村・宮川村組合立杉原中学校として創立されました。昭和31年八尾町立杉原中学校、平成17年富山市立杉原中学校と変遷を重ねながら、地域に大切に見守られてきましたが、3月75年間の歴史に幕を下ろすことになりました。

神通川、井田川、そして、八尾の山々から流れ出る幾筋もの河川による豊かな水に育まれた広大な水田地帯の風景は、生徒をのびのび、力強く育む源泉となってきました。校歌に「希望の象徴 杉の木の雪や嵐を耐えしのぐ 直く強い心もて 学徒よのびよといつまでも」と歌い継がれてきた思いや伝統を携えながら、令和4年4月、富山市立八尾中学校として、新たな歴史と文化を築くこととなります。

杉原中学校最後の生徒会スローガン「NEXT～完走、そして新たな一歩～」を胸に、新しい仲間と、新しい学校、新しい時代を拓いていくことを期待しています。

富山市立上条小学校



地域とともにある学校

本校は、明治6年9月に良智小学校として開校しました。その後、市町村合併に伴う校名の変更、校舎の移転、増改築等の幾多の変遷を経て、令和4年3月をもって、148年の歴史に幕を下ろします。

開校以来、本校は地域に密着した特色ある教育活動を推進してきました。中でも、戦争中の学童疎開が縁で、平成9年に東京都品川区立大間窪小学校（現在の品川区立小中一貫校豊葉の杜学園）と姉妹校を締結し、互いの学校を訪問し交流を続けてきました。地域や保護者のご支援、ご協力により、子供たちは、共に疎開していたお寺を見学したり、畑で収穫体験をしたりしてきました。姉妹校との絆、人と人とのつながりを大切にしていこうとする地域の思いは、子供たちに受け継がれています。

令和4年4月、本校は富山市立三郷小学校と統合し、富山市立三成小学校として開校します。今後も、地域とともにある学校文化を継承し、新たな歴史と伝統を築いていきます。

高岡市立平米小学校



おおとりのように

本校は、明治45年4月、高岡市内6番目の尋常小学校「高岡市立平米町尋常小学校」として、児童数832人で開校しました。その後、「平米国民学校」「平米小学校」と改称し現在に至ります。校区は、高岡の中心に位置し、高岡古城公園の西側一帯を占めています。毎年5月1日は、歴史的価値の高い建造物のある町並みの中で御車山祭が催されます。

本校では、6年女子の創作舞踊「おとりの舞」、5年生の「獅子舞」に取り組むことが伝統で、代々、先輩が後輩に継承する形で続いています。年に数回、学校行事や地域行事で披露しており、保護者や地域の皆様も楽しみしておられます。

校章のモチーフの「おとり」は、中国の想像上の動物で、5色に輝く優雅な翼で大空を自由に飛び回る鳥です。令和4年4月に定塚小学校と統合し「高陵小学校」となった後も、おとりのように、聡明でやさしい目をもち、徳を積む子供たちであり続けてほしいと願っています。

「学ぼう！ふるさと未来」支援事業 実践活動報告会

令和4年2月15日（火）

※ 詳しい活動の様子は、財団ホームページに各校の実践報告書として掲載されています。

舟橋村立舟橋小学校

子供たちが、村の現状から見出した課題を、自分たちができる方法で解決を図る活動を通して、ますます村が好きになり、さらによくしていきたい意欲を高めることができた。



氷見市立十二町小学校

地域の魅力と出会い、関わり、働きかけることができるように活動を精選し工夫して展開したことで、地域への思いを深め、受け継ごうとする態度を育てることができた。



高岡市立伏木小学校

長い歴史をもつ本校ならではの環境を生かし、教育熱心な地域の方々に支えられながら学ぶことで、地域への理解が進み、関わりたいという意欲を高めることができた。



高岡市立西条小学校

地域の資源を生かした学習は、ふるさとへの関心を高め愛着や誇りを育む上で効果的であった。さらに学校と家庭や地域が互いに顔の見える関係になり、共に育てようという意識の共有ができた。



南砺市立利賀小学校

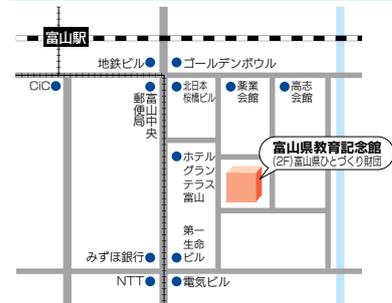
今年度から「南砺利賀みらい留学」が始まり、他地域との交流を中心に発信した。発信に対して反応が返ってきたことで、自分たちの活動に自信をもち、発展させたいと意欲を高めることができた。



あ・と・が・き

まだまだ外出を控えなければならぬ状況が続きますが、少しでも教育記念館の様子をお伝えすることができれば幸いです。

最後になりましたが、ご多用の中原稿をお寄せ頂いた皆様に感謝申し上げます。



令和4年度の展示計画

- ◆企画展「肖像画で見る郷土の先賢」
- ◆企画展「青い目の人形展」
- ◆第20回「さんすうワールド展」
- ◆第19回「子どもの目、自然不思議発見写真展」
- ◆第36回「富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」
- ◆第13回「児童・生徒によるものづくり展」
- ◆第53回「富山県造形教育作品展」
- ◆第18回「アイデアロボット展」
- ◆第33回「富山県中学校美術展」
- ◆第16回「富山県版造形教育作品展・秀作回顧展」

- 4月13日（水）～6月12日（日）
- 6月15日（水）～7月3日（日）
- 7月13日（水）～8月28日（日）
- 8月31日（水）～9月29日（木）
- 10月2日（日）～10月8日（土）
- 10月19日（水）～11月13日（日）
- 11月19日（土）～12月4日（日）
- 12月10日（土）～1月8日（日）
- 1月20日（金）～2月5日（日）
- 2月15日（水）～3月26日（日）

富山駅
近く



会議室を一般の方に安価でお貸しして、打合せや趣味の活動などにご利用いただいております。詳しくは教育記念館ホームページをご覧ください。
<http://www.t-hito.or.jp/reserve/index.html>

会議室をご利用ください！



公式Twitter

https://twitter.com/t_hitozukuri

令和3年1月に公式Twitterを始めました。財団の取組みや富山県教育記念館の展示情報を掲載しております。ぜひ、フォローをお願いいたします。

